

情報通信月間参加行事 報告書

行事 ID	I005	行事名	四国情報通信懇談会総会記念講演会	
行事形式	講演会	主催団体	四国情報通信懇談会、総務省四国総合通信局	
開催日	6月2日		開催場所	オンライン開催
行事参加者数	153名		WebサイトURL	
行事实施概要・アピール等				
<p>【講演】 演題:「ポストコロナに向けた地域のDX(デジタルトランスフォーメーション)推進」 講師:野村総合研究所 研究理事 未来創発センター長 桑津 浩太郎(くわづ こうたろう)氏 講演概要:コロナ禍を受けて導入が進むAI・IoTを活用した新たなサービスの動向、デジタル技術を活用した働き方・ビジネスモデルの変革、企業の取組事例等を紹介。</p> <p>【行事实施概要】 ・管内でも関心の高い「DX推進の現状と今後の展望、ワクチン接種後の新たなビジネスモデル、地域社会のDX展望」等について、IoTデバイス技術やAI、ドローンを含めた技術に取組むベンチャー事業例の紹介も交えて講演いただいた。 ・総会及び記念講演会を初めてオンラインで開催することとし、四国情報通信懇談会会員以外の方にも広く周知を行ったこともあり、総会記念講演会では過去最多となる153名の参加があった。 ・参加者からは、「講演は興味深いもので、社会構造を踏まえたDXのあり方を考えていかなければならない時期にきているということを感じさせる内容でした。」「今後デジタル化に対応していかなければ生き残れない、という話。説得力があり納得、理解できました。」「過疎地域だからこそDXが進行する素地があると考えています。生産人口減少対策はデジタル無しでは成しえない、と強く考えています。こうした事例、試みについての情報発信を期待いたします。」という感想をいただいた。</p>				

情報通信月間行事
 四国情報通信懇談会 第36回総会 記念講演会
「ポストコロナに向けた地域のDX推進」

四国情報通信懇談会は、四国情報通信懇談会とともに、地域DXの推進をテーマとした講演会を開催します。コロナ禍を受けて導入が進むAI・IoTを活用した新たなサービスの動向、デジタル技術を活用した働き方・ビジネスモデルの変革、企業の取組事例等を紹介し、四国地域におけるデジタル化の取組に役立てていただくことを目的としています。

【日時】令和3年 6月2日(水) 11:10~12:00
オンライン配信 (Zoomウェビナーによるライブ配信)

高齢化と労働力人口減少、AI等の技術革新は、企業や社会全体のDXを促してきました。一方、コロナ禍は移動や対面接触を抑制し、行動範囲や新たな社会活動様式を結果として押し進めることになりました。そのため、DX推進の現状と今後の展望、ワクチン接種後の新たなビジネスモデル、地域社会のDX展望について取り上げます。

<講師>
野村総合研究所 研究理事 未来創発センター長 桑津 浩太郎(くわづ こうたろう)氏

(経歴要)
 京都大学 工学部数理工学専攻
 1999年に野村総合研究所入社。同社情報システムコンサルティング部、関西支社、ICTメディア産業コンサルティング部長を経て、2017年研究理事に就任。ICT、特に通信分野の事業、投資、マーケティング戦略と関連するGAMA・パートナーシップ等を専門とし、ICT分野に関連する書籍、論文を多数執筆。

※費用：無料
 申込方法：メールの件名を「四国DX講演会申込」として、本サイトに「所属団体名、氏名、住所、電話番号、Eメール、Eメールアドレス・電話番号」を記載し、以下のメールアドレス宛て送信してください。メールにて参加URLをご案内します。
【送信先電子メール】 shikoku-chousei@soumu.go.jp

主催：四国情報通信懇談会、四国総合通信局 協賛：情報通信月間推進協議会

ポストコロナに向けた地域のDX推進

研究理事 桑津浩太郎
 株式会社野村総合研究所
 未来創発センター

2021年06月02日

NRI Share the Next Values!